



家庭でできる「不足のプレゼント」



プレゼントは、私たち大人にとっても嬉しいものです。子どもにとってはなおさらかもしれません。無邪気な笑顔をほころばせる不思議な力を持っています。

「不足のプレゼント」とは、今から30数年前の事になりますが、俳優の牟田悌三さんが使い始めた言葉です。牟田さんは、自分の住んでいる地域の子ども達の様子が気になって仕方がなかったらしいのです。

例えば、お小遣いをたくさん持ってきて買い食いをしては、ごみを散らかしっぱなし。挨拶の声かけをしてもほとんど返事なし。ましてや何かをしてもらっても「ありがとう」の言葉は皆無。

このような子どもの様子に憂いを感じ「今、どうにかしなければ」の思いでボランティア活動を始めた時にひらめいたのがこの「不足のプレゼント」という言葉で、今の子ども達は「不足」していることが不足している、何でもあることが当たり前と思っているので、感謝や感激の心が育っていないというわけです。

だから時には「不足」していることを贈ることが必要だということです。

子どもを取り巻く環境は、その頃も今もそれほど変わっていません。

今、家庭でできるプレゼントは、物のプレゼントではなく、お手伝いを通しての達成感の体験という「不足のプレゼント」かもしれません。

それぞれの家庭で子どもに合ったお手伝いを始めてみてはいかがでしょうか。

きこりんの新しい仲間を紹介します！

事務職員

須田 真由美
(4月から 住民課より)

相談員

市川 哲彦
(6月から)

事務職員

横塚 佳恵
(4月から 新規採用)

臨床心理士

中村 哲朗
(6月から)

よろしくお願ひします！



「親子自然散歩」で山のふるさと村に行ってきた！



5月21日（土）、6家族14名とスタッフ6名の20名で山のふるさと村に行ってきた。当日は絶好のお散歩日和。バスの中での合唱、山ふるではインタープリターの「さっちゃん」と一緒に葉っぱや木の実を拾ってじゃんけん遊び。お弁当のあとは種の空中散歩で遊びました。



はじめて山ふるに来られた方も何度か訪れた方もそれぞれに新しい発見や出会いがありました。ゆったりと我が子と向き合う時間が持てたという声も聞け、楽しい時間を過ごしていただけて何よりでした。



若干名ですが、まだ間に合いま〜す！！



5月から始まった「親子体操」「キッズ・リトミック」について、若干名ですがまだ参加可能です。「申し込み忘れた！」「やってみたい！」という方がいましたら、下記までご連絡ください！

親子体操



キッズ・リトミック



予約・問い合わせ等

奥多摩町子ども家庭支援センター きこりん 電話 85-2611

*相談専用メールアドレス：kikorin@town.okutama.tokyo.jp

*相談専用電話 85-1788